

## 第 235 回東京支部技術フォーラムのご案内

CT 装置から得られたボリュームデータを臨床に活かすためにどのような表現をするかは診療放射線技師に委ねられています。数ある三次元画像処理は、血管の走行評価、術前シミュレーション、手術支援、患者説明等によく利用され、断面画像からは把握しにくかった部分を補い、視覚的・多角的・立体的・仮想的に表示することで臨床に大きく貢献している画像表示方法です。

今回のフォーラムでは、3D 画像作成の基礎から臨床までとして、” 見せる・診せる・魅せる ” をテーマにどのような知識が必要かを講義していただくこととしました。初心者から経験者まで、職場に帰って実践できるようになっていただけたらと思います。

皆様のご参加をお待ちしています。

また、本フォーラムは日本 X 線 CT 専門技師認定機構と日本救急撮影技師認定機構の認定単位として 2 単位、肺がん CT 検診認定機構の認定単位として 5 単位を認められています。

日 時 : 2018 年 9 月 28 日 (金) 19:00~21:00 (18:30 受付開始)

会 場 : 国立がん研究センター中央病院 新研究棟 1F 大会議室  
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

参加費 : 会員 1,000 円 非会員 2,000 円 学生会員 無料 学生非会員 500 円

事前申込 : 不要

プログラム : テーマ「3D 画像作成と手術支援画像」

1) 19:00~19:45

3D 画像作成における基礎知識

北里研究所病院 小林 隆幸

2) 19:50~20:50

「腹部領域における手術支援画像構築の基礎」  
～画像等手術支援認定技師の概説～

済生会川口総合病院 富田 博信

問 合 先 : 公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部 CT 撮影技術研究班  
E-mail jsrt.tokyo.ct@gmail.com

担当 CT 撮影技術研究班